

# 地域課題の解決に向けた取組

## 民有林と連携した低コストで 効率的な施業の推進と普及

### 留萌南部森林管理

#### 【はじめに】

留萌南部森林管理署は、留萌管内南部の1市3町を管轄し、管轄区域の森林面積の61%を占める9万2千ヘクタールの国有林を管理経営しています。

河川上流部を占める国有林は、水源涵養機能や山地災害防止機能を発揮させることで、下流域の水源となるとともに、農地や沿岸環境の保全に寄与し地域の暮らしを支えています。

また、暑寒別岳を中心とする地域は、豊かな高山植物や優れた山岳景観を有していることから、暑寒別天売焼尻国定公園に指定され、自然環境や豊かな森林生態系を保っています。

#### 【地域の現状と課題】

留萌地域の民有林・国有林では、利用期を迎えた人工林の増加が見込まれており、今後、再造林面積の増加が予想されます。しかし、林業の新たな担い手確保は依然厳しい状況となっています。

このようなことから、今後、適切かつ効率的に森林整備を行うためには、大型林業機械作業によるコスト削減や作業労力の軽減等が地域の課題となっています。

#### 【解決に向けた取組】

令和6年度は、留萌振興局森林室主催の検討会に出席し、参加の林業事業者・森林組合・自治体等に対して、当署で実施した大型機械を使用した地拵の状況と機械下刈のイメージ、課題について説明し、「新しい林業」に係る取組について情報提供しました。

また、令和5年度から整備を進めている、留萌市との共同土場（ストックヤード）については、

令和6年度に留萌市所有の土地（4,200㎡）を追加・拡大しました。



伐採で使用した林業用機械を地拵で使用



留萌市との共同土場（ストックヤード）

#### 【今後に向けて】

北海道森林管理局の重点取組事項でもある「新しい林業」の実現に向け、造林と保育作業の低コスト化・軽労化は避けられない課題であることから、関係機関、自治体等と情報共有・意見交換を行うほか、現地検討会を計画しています。

また、共同土場を活用し民有林材も共同土場で販売することで、民有林の森林整備に繋がることから、今年度も共同土場効果を検証しつつ、各自治体・民有林関係者に情報発信していきます。